

TOSHIBA

Leading Innovation >>>



膨大な熱資源が、空気の中に眠っていた。

空気中の熱を
集めて→移動し→効率よく温度管理する。
それが、空冷ヒートポンプ式熱源機。

[暖房の場合]



暖かい空気はもちろん、冷たい空気の中にも、実は熱エネルギーが存在します。その熱を集めて移動することで、効率的な冷暖房が可能です。東芝は、世界最大容量インバータインロータリーアンプルを新たに開発。-15°C~55°Cという広範囲で、冷暖房能力の高効率化と、緻密な温度管理を実現しました。すでに大型商業施設・データセンターの省エネ空調や、寒冷地での道路融雪など様々な領域で活躍。来るべきスマートコミュニティでの活用も期待されています。電気の効率的な活用により、排出CO2も大幅に削減。東芝はヒートポンプ技術でも、地球温暖化防止に大きく貢献していきます。

空冷ヒートポンプ式熱源機

東芝のユニバーサルスマートX

東芝グループは、持続可能な
地球の未来に貢献します。

ECOスタイル